

## 上井地区青少年育成協議会総会・講演会挨拶

平成29年6月4日(日)

上井地区青少年育成協議会総会の開催おめでとうございます。外はとてもよい天気となっています。昨日、さわやかな好天の中 SUN-IN 未来ウオークで10km、倉吉の自然と新鮮な空気を感じながらのウォーキングでしたが、まだまだブルーシートのかかっている家も多く、震災からの本格的な復旧に向けて行政・議会一体となって努力していかなければならないと感じました。

さて、本日は、総会の後で河北中学校校長の 池原和彦さんの「今を生きる中学生」という演題の講演があるとお聞きしています。こちら楽しみをしています。

「子どもは地域の宝」ということを申します。地域の宝である子どもたちと大人がどんな関わりを持っているか、具体的に何をしているのかと言うことが大切なのではないかと思います。先日開催された上井地区運動会に河北中学校の生徒さんが大勢お手伝いをするなど、現在、学校と地域の関係もとてもよいと感じます。

健やかな子どもの成長ということに関しては難しい状況にあると思います。学校は、集団生活を通して様々な学びの力をつけているわけですが、学校での子どもの見せる姿は全てではありません。子どもの貧困、生活の乱れ、自己肯定感の低さ、等子供達が本来持っているはずの力を十分に発揮できない背景もあります。

倉吉市でも、「子どもの居場所づくり推進モデル事業(子ども家庭課)：学習支援、子ども食堂～地域で」や地域未来塾事業(学校教育課)：学習支援、中3対象」といったものを新しくはじめています。また、明日から2日間、議会の教育福祉常任委員会(委員長)で愛知県に視察に出かけますが、その中に豊橋市で「トヨッキースクール、地域未来塾ステップ」というものがあり、地域と子育てに関して学んでくる予定にしています。

いずれにしても、「地域の宝」として、地域住民が適切な関わり、「手はかけすぎないが、目は離さない」といったことが大切です。

本日は、上井地区の子育てに関わる皆様が集い、地域ぐるみで子育てを進めるすばらしい会となることをご祈念申し上げ、挨拶と致します。

本日は、本当におめでとうございます。